

保幼小中一貫教育の推進方針・学校等再配置計画についての住民説明会
質疑応答要旨(11/13)

* 質問・回答とも要旨を記載しております。
本説明会の主旨に関係する質問のみ掲載

No.	種別	発言内容	回答内容
A-1	意見	学校は、子どもが主役。 大人の論理で事を進めなければならないこともあるが、「子どもファースト」「子どもたちの気持ちを忖度する」という視点だけは忘れずに、この話を進めていただきたいと思っています。 敷地・周辺施設の話は、また別の機会でも聞かせていただけたらと思いますので、本日は「子どもファースト」の視点だけをお願いしたい。	
A-2	質問	学校を一つにしてしまうと学区、校区の区割りがなくなる。つまりコミュニティのまとまりがなくなってしまう。そのことについて町はどう考えているのでしょうか。	4小2中を一つの学校にするということで、これまでの議論を尊重しながら、まずは「子どもの教育についてどうか」を考えさせていただきました。 地域のコミュニティにも密接に関わる場所もありますが、しかしながら文科省においても学校再配置については、子どもたちの教育環境を改善・維持するのが第一義としています。 今後5年後、10年後・・・を見据えて、できるだけ子どもたちの教育環境が低下しないようにということが最優先です。 コミュニティについてどう考えるかについては、改めて課題としていかなければならないと思っています。 30万都市と言われるところにおいても、学校再配置を考えていかなければならないところが出てきています。コミュニティをないがしろにするということはないですが、いままでのようには行くことはないと思っています。 これまで学校を支えてきた校区青育協、PTAなど無くなってしまふことを心配されているのは事実です。そのフォローをどのようにするのかは、これから十分協議しなければならぬと思っています。
A-3	質問	どのような一貫校を作っていくのか、基本計画を示していただきたい。	まずは基本計画を作る前に、小中一貫教育の教育大綱の大枠(*1)を皆さんにお示しして、意見を聞いた上で、これから基本計画を作っていくという段取りとしています。 (*1) ①一体型小中一貫校・東西地区に認定こども園の整備 ②場所:吉川中学校とその周辺 ③開校時期:平成35年4月予定 ④通学:通学バスの運行(東地区) ⑤給食:自校式
A-4	質問	教育大綱については結構だと思う。 敷地について、吉川中学校とその付近にする理由として、公共施設が周辺にあると記載されていますが、前町長の反対ビラによると、周辺の公共施設が再整備の対象になっていると書かれています。どちらが正しいのですか。	敷地については、設計業者をプロポーザル方式にて選定するにあたり、業者がどのような企画力、技術力等があるのかを審査するために提案可能な範囲をお示したもので、学校の敷地として決定したものではありません。 敷地が業者の提案任せだと思われる方がおられるようですが、町が指定いたします。 本町としましては、学校に限らず本庁も含めて全ての公共施設の再編が必要になってくるだろうとも考えており、今後学校の敷地が決まれば公共施設の再編も同時に考えていく段階にありまして、チラシに書かれているような公共施設が無くなるであるとかは決まっているものではないです。今後学校の敷地が決定すれば、その折に改めて発表させていただきます、同時に公共施設再編について検討し、計画を立てて住民の皆様へお知らせします。
A-5	意見	私がここへ来た(転入した)のは、ユーベルホールや図書館など文化施設があるからというのが一つの要素でした。敷地にユーベルホールや図書館が入っているのかを明確にして欲しい。	学校敷地が決まれば、公共施設が無くなり、利便性が低下する、行政サービスが下がるということを心配されているのだと思います。まだこの施設までと、お示しできる段階ではございませんが、住民の皆様が利便性が下がらないように、公共施設が学校敷地に入ったとしても、例えば複合施設等を考えるなど、学校建設のために公共施設が無くなるということはないとお約束をします。

A-6	意見	一貫校は、小中の授業時間が異なるなど種々の問題があると聞いています。保護者説明会の中で、教育委員会は、校庭は2面、体育館も2つが望ましい、動線についても配慮しなくてはならない、と答弁されています。非常に良いことだと思いますので、この辺りは十分配慮願いたいと思います。	
A-7	意見	東地区の方々のことに関して、地域の皆さんは学校を中心に地域を盛り立ててこられた経過があると思います。この辺りを十分に配慮していただきたい。地域の気力を削ぐようなことはやめていただきたいと思います。	
A-8	質問	小中一貫校が必要なことは理解しています。子どもが主役であり、コミュニティの中心施設であります。計画では、5年後と迫っています。このような乱暴な進め方は見たことがありません。失礼ですが5年先まで現町長の任期はありません。5年先にいる職員も何人いるのでしょうか。無責任ではないでしょうか。	職員は、定年退職を念頭に置いて仕事をしているわけではございません。定年を迎えるまで、責任をもって地域のことを、住民のことを考えて行政サービスに尽くすというものでございますので、誤解のないようにお願いします。5年後ということで、順序を追って進めて行かなければなりません。説明会をさせていただき、皆さんのご意見を聞かせていただいて、小中一貫校を進めていく上で学校の先生、PTAの方々等々打ち合わせをしながら進めて行きます。設計を書くにも1年はかかりますし、建設も2年はかかります。町としては、平成35年は最短でできるの見込み、大綱をつくったものであり、ご理解をいただきたいと思っております。
A-9	意見	まず場所を決めなければ、皆さんは納得しないと思うのと、子どもの通学の件ですが、東地区のみしか通学バスはありません。新光風台からは徒歩だと30分はかかります。新光風台はせめて4年生まではバスを出すべきだと思います。豊中市などは、5年生になれば1.5km以上は自転車通学を認めています。もっと綿密な計画を求めます。	先にお話ししましたが、保護者説明会でも新光風台の方から低学年についての通学が心配だと意見をたくさんいただいていますので、検討課題ということで、子どもにとって一番良い方法を検討していきたいと思っています。
A-10	質問	人口が減っている話はされるのですが、人口を増やす計画は立てられないのか、根本的に考えるべきだと思います。	人口問題の件ですが、人口の増減は社会的要因と自然的要因があります。転入と転出、これが社会的要因で転出が多ければ人口は減る。出生と死亡、これが自然的要因で死亡の方が多ければ人口は減るということです。豊能町の場合、いま両方、転出が多くて、死亡も多いことで人口の減少が続いている状況です。転出が多い理由としましては、把握はできており、就職時と結婚時、この2つです。つまり転出されるのは20代、30代の方が突出して多い状況で、この世代の転出を抑えれば人口減少は抑制できるということですが、これは豊能町に限らずニュータウンの宿命で、親御世代と一緒に住むの息子娘さんは、どうしても就職のとき、結婚のときに同居を諦め、転出をされるということで、子どもの出生数もそれに伴い減っていくという悪循環が続いてしまいます。これは豊能町が昭和の終わりから平成の始めにかけて爆発的に人口が増えましたけれども、このときも実は20代、30代の方はずっと転出はされておりました。ところが、それ以上に転入が多かったことで人口が増えたということがあります。昔から豊能町の場合、若い方々は転出しつづけていたという状況です。最近、空き家が町内にも目立ってきており、その空き家に若い方々が転入されてくるということが出てきています。すでに住宅開発は終わっており、新しい住宅地ができることにはないですが、空き家を活用して転入してもらうことを今後は進めて行こうと思っております。

A-11	意見	<p>高齢化がこの町では激しく進んでいます。データを見ると2040年には子どもが528人に対し、高齢者が6,600人、子どもたちが1割に満たない状況。</p> <p>私も文化施設を利用していますが、高齢者は生き生きとしていると感じています。チラシにはそれらの施設が無くなるを書いてありました。それは大変だと、今日ここにきたのですが、決定ではないということで安心はしたのですが、指針は早く出していただきたいと思いません。</p> <p>それと今は、吉川中学校周辺をお考えとのことですが、費用面から見て有利なら、新しく造成もして東ときわ台小学校のところも考えられると思います。財政面からも考慮すべきだと思います。</p>	<p>財政面の件ですが、国の交付金、地方交付税など使えるものはすべて使って、町の財政になるべく影響がないように考えております。</p> <p>全国の状況を見てもと学校建設費用は30～50億円程度です。同程度の場合、概ね豊能町の持ち出しは、毎年数千円という試算をしており、可能という判断をしております。今後、具体的な金額が出ましたら議会にも説明しますが、財政を無視し、苦しくなる覚悟の上で学校の再配置をするというものではありません。財政の範囲内でやって行くということで考えております。</p>
A-12	意見	<p>西地区に引っ越されてきた方の理由は学校がある、医療機関がある、買い物をするところがある。東地区を廃校すれば、魅力は一つもなくなる。ダイオキシンの風評被害が残るのみ。モノを潰して金を使うのではなく、人を集めることを考えた方が良いのではないですか。</p>	(人口問題については前述のとおり)
A-13	意見	<p>一貫校は、どのように魅力のある学校にしていくのかを示されていません。保護者説明会では、皆さんは賛同されているのでしょうか。賛同されていないものを住民説明会に持って来られるのは、プロセスとおかしいのでしょうか。</p> <p>統廃合の必要性は認めますが、提案のプロセスが示されておりません。経費の検討について(学校数による比較等)が示されていません。総合的なまちづくり、跡地利用などを示さない限り、賛同することはあり得ないと思いません。</p>	<p>皆さんのご意見は十分わかりますが、子どもたちを犠牲にすることはできないという思いから、説明会は開催させていただいています。子どもために何が一番良いのか、どのような学校にしていくのかを皆さんで議論いただきたい。</p>
A-14	質問	<p>決まった話でしょうか。財政面は考えていますか。現状の施設を使ってはどうかと思います。</p>	<p>建設費用については、設計もしていない段階です。建設年度については、国の補助金と起債をしますので、町の持ち出しは建設費用の5%と見込んでいます。起債したものの返済(償還金)に対し地方交付税措置があります。町の持ち出しは毎年数千円と見込んでおり、豊能町の財政状況が持ちこたえられと見込んでいます。ランニングコストについても、6校が1校になる訳ですから当然浮いてきます。通学バスの費用についても地方交付税措置がありますので、それらを加味すると持ちこたえられと、財政サイドは見ております。解体費用に関しましても、それに対する起債制度も活用できると考えておりますし、長期的に他施設のLCC(ライフサイクルコスト)についても十分判断していきたいと思っております。</p>
A-15	質問	<p>小中一貫教育の導入については、各市町村に任されているものなのですか。府内で小中一貫教育をされているのはどこがありますか。</p>	<p>学校設置については、各市町村に任されております。6-3制になって70年余り、様々な課題が出てきており、小中9年間でもって教育を進めて行く考えが出てきました。わが町においても、小中教諭が連携して9年間を一貫した教育を進めようと議論が重ねられ、その中でより効果的に推進するため一体型の学校の話がでてきたものです。</p> <p>小中一貫教育は、近くでは箕面市とどろみの森学園、彩都の丘学園、池田市ほそごう学園、能勢町ささゆり学園、府内では守口市さつき学園等があります。豊中市や全国でも小中一貫教育の動きは出てきております。</p>

A-16	意見	<p>賛成です。 現状の学校の状況を言いますと、どの小学校も老朽化が進んでおり、プールの授業に支障がでたり、トイレが使えないところが多かったり、修繕箇所もかなり出てきています。中学校に関しても同様の状況です。 子どもに関しても幼稚園、小学校から1クラスで、子ども間の上下関係が決まっておき、子どもたちにとってはしんどいことだと思います。 古いものを大事にすることも大切ですが、それを維持するのはコストがかかります。建替えはランニングコストも抑えられるし、子どもたちも快適な環境が望めます。またクラス編成もでき、人間関係についての改善が期待できます。</p>	
A-17	質問	<p>東地区から学校が無くなることに反対しています。 学校が無くなることで地域のコミュニティがなくなります。小中一貫校ありきでなく、まず、町づくりありきで考えるべきだと思います。 保護者説明会でも同じような質問ができていますが、今日と同じような回答で納得できているところがありません。 一定の理解が得られたら決定していくということですが、一定の理解とは、その範囲、タイミング、手法を教えて欲しい。</p>	<p>学校再配置については、各答申、審議会の議論も踏まえ7案を検討してきました。 子どもたちの教育環境が低下していく、維持できない状況、また町長のタウンミーティングの状況から判断しました。 最後には2小2中の案もありましたが、西地区においては一定の学級規模が維持できますが、東地区においては状況が厳しくなると判断しました。 我々は、子どもの教育環境改善が第一義と考えています。</p>
A-18	意見	<p>設計業者から、既存施設を撤去する案が出されれば住民投票を実施して欲しい。 道の駅構想も黒字は期待できない。</p>	<p>敷地範囲については前述のとおり。 チラシに書かれているように範囲の全てを学校の敷地にする訳ではありません。 住民投票については、議員提案なりしていただいて条例制定が必要です。 道の駅については、制度設計段階で軽々に言えるものではありませんが、収支については厳しく査定していく考えです。</p>
A-19	意見	<p>保護者説明会で一定の理解とは何かと聞いたとき、「過半数」と答えられていたが、「大多数」と発言が変わった。疑問に思う。 子どもに「学校がなくなるとどうする？」と聞いたら、泣きそうに「いや」と言われた。</p>	<p>「大多数」の方が、この方針が良くないということであれば町長と教育委員会で再度協議するとのことで来ています。「過半数」とは発言していません。</p>
A-20	意見	<p>説明会で、賛成反対を聞けば良いのではないですか。 一貫校にしなければならぬならば、東と西に一校ずつあった方がいいと思います。 財政案を示して欲しい。</p>	
A-21	質問	<p>先ほどの「保護者の賛同を得られたのか」の回答をいただけていない。 東地区では賛同を得られていないと嘆願書で示しています。 文科省手引3頁、「地域コミュニティの核としての性格への配慮」のところ、丁寧な議論はなされているのかが疑問です。 資料で、子どもの人数の推計の数が異なっていますが、どれが正しいのですか。</p>	<p>保護者説明会をやらせていただいて、西地区においては追加の説明会の要望がなかったことと、東地区での説明会においても参加人数が収まってきました。それと東地区においては町づくりの観点で開催して欲しいとの要望がありましたので、住民説明会を行わせていただきました。 手引の件ですが、その上の段に記載がありますが、まずは子どもの教育改善を第一に考えてやるべき話ということを念頭に置いていただきたいと思います。 資料の数値の異差ですが、白色の資料の数は4月末時点のもので、こちらの方が新しいものです。</p>

A-22	意見	子どもを幼稚園に入園させる際、町内幼稚園も見学に行ったが魅力的とはいえない環境であったので、他の私立幼稚園に入所させました。いま多額の費用を使って新校舎を建設するより、これも費用は嵩みますが、今あるものを修繕して東と西をそれぞれやればどうですか。それでも東が持たなくなったときに統合すればよいのではないですか。	
A-23	意見	昨年、ささゆり学園の見学をしました。色んなご意見が出たが、もっときめ細かく説明会をするべきかと思います。まだまだ説明会を開いて欲しいと思います。この町は西と東で文化が違います。わが町が直面する課題に対してみんなが議論して進めて行かなければならないと思います。	
A-24	質問	収入の説明がありません。補助金他ですべてが賄える訳ではない。その他はどうやって賄うのですか。	先ほどの説明で、一般財源からの持ち出しで数千万円という試算をしているということでございます。